



企画展 壁の貝塚

- 海と沼の貝塚 - ▶ 6/20(日)

貝塚は、私たち現代人の感覚で言うと「ゴミ捨て場」ですが、縄文人にとっては自然の恵みに感謝し、供養と再生を祈る「送りの場」でもありました。貝塚を調べると、遺跡周辺の自然環境や縄文人の生業、食生活などを明らかにすることができます。

宮城県内には、縄文時代の貝塚が200カ所以上もあります。多くは里浜貝塚のように海辺の縄文人が残した海の貝を主体とした鹹水性（海）の貝塚ですが、ヤマトシジミを主体とした汽水性の貝塚や、内陸部に暮らす縄文人が残した沼地に生息するイシガイやタニシを主体とした淡水性（沼）の貝塚もあります。中には、鹹水性の貝塚から淡水性の貝塚へと変わり、遺跡を取り巻く環境が大きく変化したことを示す貝塚もあります。

今回の企画展では、県内各地の貝塚から剥ぎ取ったさまざまな貝層の断面を紹介し、発掘現場でしか見ることができない、地下に眠る貝塚の臨場感を体感いただけます。また、環境の異なる様々な自然環境の中で暮らした縄文人の生活に迫ります。



見どころ /

1

圧倒的な存在感！
メイン展示「大久保貝塚」の剥ぎ取り。

貝塚貝層の断面を特殊な薬品で固める「剥ぎ取り」。ふだん発掘現場でしか見ることの出来ない「土の中」をご覧いただけます！展示室中央に展示されているのは、南三陸町の「大久保貝塚」の貝層。大きな土器の破片や、びっくりするほど大きなカキ殻、そのカキを剥いた「ヘラ」、木の実をつぶした石、作りかけ(?)のプレスレット...などじつにさまざまなものがくっついてます。

見どころ /

2

ぐるりと囲んだ
貝塚の壁！！

県内各地から集めた「貝塚の壁」が展示室を囲んでいます。中には、現在は内陸部に位置する海の貝塚もあります。大塩の北側にある餅田貝塚も海の貝塚です。当時はここまで海が入っていたことを示しています。



見どころ /

3

ずらりと並んだ、
骨、ほね、ホネ・・・！



展示ケースの中には、海の貝塚と沼の貝塚、それぞれから出土した動物の骨や縄文人の道具でいっぱい！獲れる魚の違いや、冬の沼に飛来した鳥の骨など環境の違いが見て取れます。じっくりと見てみると「え！？縄文人って〇〇も食べてたの！？」と意外な食生活も知れますよ！

赤井官衙遺跡が「国史跡」に指定されました。

東松島市教育委員会では、これまで赤井遺跡と矢本横穴墓群の調査を行うとともに、国の史跡を目指して準備を進めてきました。

昨年11月の国の文化審議会で、史跡の答申をされた「赤井官衙遺跡群」は、このたび3月26日付けの官報告示により、正式に国史跡に指定されました。

赤井官衙遺跡群は、陸奥国牡鹿郡の役所跡「牡鹿郡家」あるいは『続日本紀』に見える「牡鹿柵」と考えられる赤井官衙遺跡と、その官人らの墓・矢本横穴からなります。関東からの移住者を中心とした集落の形成と官衙の造営、蝦夷の居住域内における官衙の実態、さらにはその運営を担った郡司をはじめとする官人の出自をたどることができる、律令国家成立期の東北経営を理解する上で重要な遺跡として、国史跡に答申されました。

延期していた講演会の開催が決定しました！

記念講演会『赤井官衙遺跡が語るもの』

今回の講演会では、赤井官衙遺跡群の歴史的な意義と今後の課題、そして地域のたからとして「赤井官衙遺跡群」が目指すべきこれからのについて、長年全国の遺跡の史跡指定や保存活用に関わられてきたお二人にお話しいただきます。

日時 6/19(土)
10:00～12:00(開場 9:30)
会場 東松島市矢本東市民センター
講師 坂井 秀弥氏
(公益財団法人大阪府文化財センター理事長)
岡村 道雄氏 (奥松島縄文村歴史資料館名誉館長)

定員 100名・入場無料・要予約

お申込み：奥松島縄文村歴史資料館
TEL 0225-88-3927
FAX 0225-88-3928
(氏名・住所・電話番号・参加人数)

赤井官衙遺跡をパネルでご紹介します！

パネル展「赤井遺跡と矢本横穴 -古代の牡鹿郡役所跡と官人の墓-」

期間 ～ 5/30(日)
会場 東松島市図書館

EVENT INFORMATION

予約不要 縄文体験・体感 WEEK!
5/1(土)-5/5(木) 9:30-15:00

GWは「縄文」を楽しもう！日替わり縄文体験のほか、里浜貝塚ツアーなどを開催。

5/2, 5に予定していた「無料DAY」はコロナ対策のため中止します。

予約不要 縄文・宮戸まつり
5/23(日) 10:00-15:00

入場無料 / 体験無料 ※一部有料あり

【臨時休館のお知らせ】
5/6は臨時休館日とさせていただきます。